

「社会のニーズに対応する実践的簿記学習を目指して」 ～日商簿記ベースの指導改善の取り組み～

熊本県立球磨商業高等学校

簿記会計は社会的ニーズが高く、かつ商業教育の大きな柱の1つであり、商業高校ならではの「強み」を発揮できる科目である。また、実学の根幹部分であることから、商業高校では社会で使える実践的な簿記を指導する必要がある。実務においても簿記会計は経済活動を正確に分析評価できるため、経営改善に必須の力となっている。それ故判断力を鍛え考える実践的な簿記会計を研究し、23年度、24年度の指導実績を踏まえ、日商簿記検定2級を二年次に取得できる体制を作った。これにより高い目標を持った意欲的な生徒の増加、それに伴う教師の指導力の向上が加わり、日商簿記2級受験者及び取得者が大幅に増加した。今年度も更なる授業改善を進めている。



<日商簿記検定の合格者数とのべ受験者数>

	H. 20 年度	H. 21 年度	H. 22 年度	H. 23 年度	H. 24 年度
合格者	7 (2)	9 (4)	23 (3)	32 (16)	38 (21)
のべ受 験者数	34 (9)	35 (13)	63 (11)	95 (43)	125 (52)

左記の年度比較をしてみると、特に顕著なのは平成23年度以降の下級生の合格者数の伸びである。今回の取り組みで下級生の意欲が大幅に伸び、合格者増につながったと思われる。

※ () の数値は1・2年生の人数
※ 生徒数減少の中、目標を持ってチャレンジする意欲的な生徒が大幅に増加

今回2月に行われた第133回日商簿記検定2級において、49名中31名の生徒が合格した。人吉商工会議所管内の全合格者に対する本校生の合格者の割合は約80%を占めるものであった。今回の実績は、早い段階からの生徒の意欲をくみ、学校一丸となって継続的な指導を行った結果である。今年度から全学科で同様の取り組みを行う予定である。社会のニーズに対応する実践的簿記学習を目指し、生徒・職員ともに研鑽を積んでいきたい。

